履歴・研究業績（2022.3 現在）

氏名：伊藤雄二
所属：人間総合学部 子ども教育学科
専門分野：英語教育 英語授業学
研究・指導分野：英語教授法, Oral Method, 教師のコメント, 入門期指導
担当科目：(含過年度)

< 本学において > 英語科教育法Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、小学校英語科教育法Ⅱ・Ⅲ、コミュニケーション・イングリッシュ A、英語、英語 EⅠ・Ⅱ、言語教育のための英文法Ⅰ・Ⅱ、中学校教育実習指導、教育実習指導（中高）、アクティブ・イングリッシュ B、地域社会と子ども、総合教養 AⅡ、基礎ゼミ、プロゼミ、専門ゼミⅠ・Ⅱ、中学校教育実習Ⅰ・Ⅱ、教育実習Ⅰ（中高）、教育実習Ⅱ（中高）
< 他大学において > 東京外国語大学（英語科教育法Ⅰ、教育実習）

学歴

- 1976. 4 東京学芸大学教育学部中等教育教員養成課程英語専攻入学
- 1980. 3 東京学芸大学教育学部中等教育教員養成課程英語専攻卒業
- 1989. 4 東京学芸大学教育学部大学院教育学研究科英語教育専攻修士課程入学
- 1991. 3 東京学芸大学教育学部大学院教育学研究科英語教育専攻修士課程修了（教育学修士）

職歴

- 1980. 4 東京都小平市立小平第四中学校教諭（1984年3月まで）
- 1984. 4 東京学芸大学教育学部附属竹早中学校教諭（1995年3月まで。）
- 1988. 4 東京外国語大学外国語学部非常勤講師（「教育実習」担当）（1994年3月まで。）
- 1995. 4 社団法人ミラノ日本人学校（中学部主任・教務主任）（1998年3月まで。）（文部省教育助成局海外子女教育課「在外教育施設への教員派遣制度」により3年間の海外（イタリア共和国）出張による。）
- 1998. 4 東京学芸大学教育学部附属竹早中学校教諭（2006年3月まで。）
- 2000. 4 東京外国語大学外国語学部非常勤講師（「教科教育法Ⅰ」担当）（2003年3月まで。）
- 2006. 4 東京学芸大学附属高等学校教諭（帰国生・留学生委員長）
- 2012. 4 東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校教諭（生徒指導部主任）
- 2017. 4 北陸学院大学人間総合学部子ども教育学科 教授（現在に至る。）
- 2020. 4 石川県教育委員会英語教育指導アドバイザー（現在に至る。）

学会等における活動・役職歴

- 1982. 4 財団法人語学教育研究所準研究員（1987年4月1日より研究員。）
- 1988. 11 財団法人語学教育研究所研究大会「公開授業」授業者
- 1993. 4 財団法人語学教育研究所評議員（2000年3月まで。）
- 1998. 4 財団法人語学教育研究所監事（2000年3月まで。）
- 1998. 4 財団法人語学教育研究所パーマー賞委員会委員（2010年3月まで）
- 2000. 4 財団法人語学教育研究所理事（2010年3月まで）
- 2002. 4 財団法人語学教育研究所総務部長（2004年3月まで。）
- 2002. 11 財団法人語学教育研究所研究大会「公開授業」授業者
- 2004. 4 財団法人語学教育研究所常務理事（2010年3月まで）
- 2020. 4 財団法人語学教育研究所パーマー賞委員会委員（現在に至る）

社会貢献・活動

- 1) 2011. 10 公益財団法人イーオン1%クラブ主催「日中小大使プログラム」により高校生20名を北京へ引率（中国外務省訪問、北京市長との懇談会）
- 2) 2019. 1 石川県英語教育協議会（IPELEC:石川県内中学校・高等学校の英語科教員による授業研究会）発足

学内における貢献(主な役職、委員会、その他)

- 1) 国際交流部員、中学校教育実習（英語）のためのシステム構築、北陸学院中学校・高等学校との連携強化のための授業参観実施

業績

著書・教科書

- 1) 「3章Ⅰ 机間巡視」pp. 85-88, 5章Ⅱ「黒板画」pp. 200-203, 5章Ⅲ「ピクチャー・カード」pp. 204-

- 208, 5章IV「フラッシュ・カード」 pp. 209-214. 『英語指導技術再検討』大修館書店, 財団法人語学教育研究所(編著), 1988年6月15日
- 2) 「第3章 Skill Training 入門期の指導(学習への動機付け)」 pp. 61-67, 「聞くことの指導」 pp. 67-74, 「話すことの指導」 pp. 74-80, 『現代英語教育の理論と実践』聖文社, 堀口俊一(編著者代表), 1991年2月1日
 - 3) 『英語授業のアイデア集英語教師の四十八手 教科書の活用』, 金谷憲・谷口幸夫編, 研究社, 1995年5月21日, 全103頁
 - 4) 『ヴィスタ英和辞典』若林俊輔(編), 三省堂, 1997年12月15日, 共著者多数
 - 5) 「生徒中心のquestion-answering」村田勇三郎(編集代表), 『隈部直光教授古稀記念論集』, 開拓社, 2002年1月15日, pp. 263-270
 - 6) 『NEW CENTURY English Series II』(高等学校外国語科用文部省検定済教科書)若林俊輔(編集代表), 三省堂, 1992年3月30日, 著者多数
 - 7) 『SELECT ORAL COMMUNICATION B』(高等学校外国語科用文部省検定済教科書)若林俊輔(編集代表), 三省堂, 1998年3月30日, 著者多数
 - 8) 『NEW HORIZON English Course 1・2・3』(中学校外国語科用文部省検定済教科書)笠島準一他(編集代表), 東京書籍, 2006年2月10日, 共著者多数
 - 9) 『Hello there! English Conversation』(高等学校外国語科用文部省検定済教科書)酒井志延(編集代表), 東京書籍, 2012年3月1日, 共著者多数
 - 10) 「13. ペア・ワーク」砂谷恒夫他編『語研ブックレット6《中学・高校》「英語で授業」の基礎基本』, 一般財団法人語学教育研究所, 2017年11月19日, pp. 100-109
 - 11) 「第2章解説」『若林俊輔先生著作集①雑誌連載記事』若有保彦編, 一般財団法人語学教育研究所, 2018年11月9日, pp. 32-33

翻訳

- 1) 特になし

事典項目

- 1) 特になし

教材

- 1) 「DVD版・授業のためのアイデアボックス」ジャパンライム株式会社 金谷憲・谷口幸夫監修「Plus One Dialog」2002年4月10日
- 2) 「Plus-one Dialogueの指導」(DVD教材) The Making of English Lessons, ジャパンライム株式会社 財団法人語学教育研究所監修 英語教育DVD&ビデオシリーズ E32-1, 2003年10月25日
- 3) 「Pre-questionを用いたQ-A活動」(DVD教材) The Making of English Lessons Part 2, ジャパンライム株式会社 財団法人語学教育研究所監修 英語教育DVD&ビデオシリーズ E36-1, 2004年10月23日
- 4) 「話すこと」(DVD教材) 新・英語授業のすべて～The Making of English Lessons～ジャパンライム株式会社 財団法人語学教育研究所監修 E42-7, 2006年10月28日
- 5) 「視聴覚機器」(DVD教材) 新・英語授業のすべて～The Making of English Lessons～, ジャパンライム株式会社 財団法人語学教育研究所監修 英語教育DVD&ビデオシリーズ E42-16, 2006年10月28日

研究報告書

- 1) 「第4章 研究開発グループの報告(3)ーグローバル・キャリアー」『スーパー・グローバル・ハイスクール(SGH) 研究開発実施報告書 第1年次平成28年』東京藝術大学音楽部附属音楽高等学校, 2017年3月10日, pp. 64-82, 共著者他4名

研究論文

- 1) 「対話教材を用いた、英語の学習意欲を高める指導」『研究集録‘87 学習意欲を持たせ高める指導』, 東京学芸大学附属竹早中学校, 1987年11月7日, pp. 137-145
- 2) 「対話教材を扱う際の工夫ー改良案(2)」伊藤嘉一(編集代表)『現代の英語教育学研究』弓書房発行・鷹書房発売, 1991年6月10日, pp. 21-28
- 3) Teacher Comment and Its Immediate Influence on EFL Learners' Fluency (修士論文抄稿)『英語授業学の視点ー若林俊輔 教授還暦記念論文集』, 三省堂, 1991年12月10日, pp. 223-239
- 4) 「英語で表現する力を育てる工夫Ⅱ～「聞くこと」「話すこと」を中心に～」『研究紀要』第39号, 東京学芸大学教育学部附属竹早中学校, 2001年9月28日, pp. 153-165
- 5) 「生徒中心のquestion-answering」『21世紀の英語教育への提言と指針 隈部直光教授古稀記念論集』村田勇三郎他(編), 開拓社, 2002年1月15日, pp. 263-271
- 6) 「なぜオーラル・イントロダクションが必要か?ー何を、いつ、どう始めるか?ー」財団法人・語学教

- 育研究所『語研ジャーナル』第3号, 2004年10月23日, pp. 27-36
- 7) 「オーラル・イントロダクションはいつまで必要か? その時生徒はどうなっているか?」財団法人・語学教育研究所『語研ジャーナル』第9号, 2010年11月20日, pp. 15-22
 - 8) 「英語IとOCIのコラボ授業の取り組みについて」『研究紀要』第48号, 東京学芸大学附属高等学校, 2011年3月1日, pp. 83-96, 共著者他10名
 - 9) 「過去形再検討—日本の英語教育における文法指導の課題」『教職課程研究』第3号, 北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部, 2017年2月25日, pp. 7-12
 - 10) 「小・中・高校の系統的キャリア教育のための一方法—従来の進路指導との比較を通して—」『教職課程研究』第4号, 北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部, 2017年9月30日, pp. 1-6
 - 11) 「CAN-DO ディスクリプタを達成するための内省的学習方略—good language learners の特徴に焦点を当てて—」『教職課程研究』第8号, 北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部, 2021年3月1日, pp. 1-6

その他の著作

- 1) 「机間巡視」『英語教育』Vol. XXXIII, no. 1, 大修館書店, 1984年4月1日, p. 1
- 2) 「聞くことのテスト」『英語教育研究』Vol. 1, 語学教育研究所, 1985年10月1日, pp. 10-12
- 3) 「絵—黒板画」『英語教育』Vol. XXXIV, 大修館書店, 1985年11月1日, p. 77
- 4) 「週3時間の中学で」『現代英語教育』第23巻, 第6号, 研究社, 1986年6月1日, pp. 7-9
- 5) 「中学生にはこんな教材を」『現代英語教育』第24巻, 第3号, 研究社, 1987年6月1日, pp. 8-9
- 6) 「対話教材を扱う際の一工夫」『英語教育研究』Vol. 3, 語学教育研究所, 1987年10月1日, pp. 15-18
- 7) 「対話教材を扱う際の一工夫(2)」『英語教育研究』Vol. 4, 語学教育研究所, 1988年11月12日, pp. 18-21
- 8) 「対話文の効果的な扱い方」『別冊 The English Journal 50 新英語教師読本 国際化時代の英語教育マニユアル』株式会社アルク, 1988年9月20日, pp. 151-152
- 9) 「三人称単数現在形」『英語教育』Vol. XXXVIII, no. 5, 大修館書店, 1989年8月1日 pp. 38-39
- 10) 「三人称単数現在形再考」『英語教育研究』Vol. 5, 語学教育研究所, 1989年11月11日, pp. 87-89
- 11) 「コミュニケーションを図ろうとする態度を養う」『英語教育』Vol. XXXVIII, no. 1, 大修館書店, 1989年12月1日, pp. 16-17
- 12) 「三人称と一・二人称」『英語教育』Vol. XXXIX, no. 2, 大修館書店, 1990年5月1日, pp. 74-75
- 13) 「教師のコメントについて」『英語教育研究』Vol. 6, 語学教育研究所, 1990年10月27日, pp. 56-59
- 14) 「中学における教育実習」『現代英語教育』第28巻, 第3号, 研究社, 1991年6月1日, pp. 12-15
- 15) 「自己表現力をどうつけさせるか」『英語教育』Vol. 41, No. 1, 大修館書店, 1992年4月1日, pp. 26-28
- 16) 「Oral Introduction のために—チェック・リスト私案—」『英語教育研究』Vol. 10, 語学教育研究所, 1994年10月15日, pp. 24-28
- 17) 「ディベート」『英語教育』Vol. 43, No. 12, 大修館書店, 1995年2月2日, pp. 40-41
- 18) 「やさしい教材を使った『リーディング』の指導」『英語教育』Vol. 48, No. 8, 大修館書店, 1999年8月1日, pp. 40-41
- 19) 「ライティングの授業手順」『英語教育』Vol. 49, No. 7, 大修館書店, 2000年10月1日, pp. 32-33
- 20) 「Oral Introduction 総論」『英語教育』Vol. 50, No. 9, 大修館書店, 2001年11月1日, pp. 32-33
- 21) 「生徒のモチベーションを高める前に」『The Eiken Times 5月号別冊 STEP 英語情報』財団法人・日本英語検定協会, 2001年5月5日, pp. 28-31
- 22) 「教科書を使わない中学校最初の3か月」『英語教育』Vol. 52, No. 1, 大修館書店, 2003年4月1日, pp. 22-24
- 23) 「中学校入門期のListening の指導」『東書教育情報 ニューサポート 中学英語』No. 19, 東京書籍, 2003年9月1日, pp. 8-9
- 24) 「Speaking Plus の効果的な実践例」『教室の窓』Vol. 1, 東京書籍, 2004年3月1日, pp. 8-9
- 25) 「誉め方・叱り方—効果的な教師のコメントの仕方」『教室の窓』Vol. 6, 東京書籍, 2006年1月1日, pp. 12-13
- 26) 「ペアワークの基礎・基本」『英語教育』Vol. 55, No. 1, 大修館書店, 2006年4月1日, pp. 22-23
- 27) 「保護者からのクレームにどう対応するか」『英語教育』Vol. 56, No. 10, 大修館書店, 2007年12月1日, pp. 17-19
- 28) 「生徒のために最高の授業を心がけよう」『STEP 英語情報』第12巻, 2号, 通巻79号, 財団法人・日本英語検定協会, 2009年3月5日, pp. 12-13
- 29) 「演奏修学旅行の実践報告」『研究紀要』第10集, 東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校, 2015年3月11日, pp. 13-26

研究発表

- 1) 「文法用語再検討」財団法人語学教育研究所 研究大会, 学習院大学, 1987, 大会資料集 pp. 87-106
1987年10月29日, 大会資料集『語研FORUM 09』pp. 51-58

- 2) 「導入法再検討 (1) 三単現・分詞構文」(松本剛明氏との共同発表) 財団法人語学教育研究所 研究大会, 拓殖大学, 1999 年 10 月 31 日, 大会資料集『語研 FORUM 99』pp. 36-43
- 3) 「ライティングの授業手順と指導例」(松本剛明氏と神谷稔氏との共同発表) 財団法人語学教育研究所 研究大会, 拓殖大学, 2000 年 10 月 22 日, 大会資料集『語研 FORUM 99』pp. 78-93
- 4) 「指導技術研究」(千田亨氏との共同発表) 財団法人語学教育研究所 研究大会, お茶の水女子大学, 2006 年 10 月 29 日, 大会資料集『語研 FORUM 09』pp. 51-58
- 5) 「Oral Introduction の向こうに何があるか」(柿本理彩・鈴木文也・吉田章人氏との共同発表) 財団法人語学教育研究所 研究大会, お茶の水女子大学, 2008 年 11 月 23 日, 大会資料集『語研 FORUM 09』pp. 140-157
- 6) 「到達目標を見据えた Oral Introduction と Explanation のあり方」(吉田章人氏との共同発表) 財団法人語学教育研究所 研究大会, 武蔵野大学, 2009 年 11 月 22 日, 大会資料集『語研 FORUM 09』pp. 136-151
- 7) 「トピックベースの即興対話と評価」(木村祐太氏の指導助言者) 第 69 回全国英語教育研究大会 (全英連三重大会, 三重県総合文化センター, 2019 年 11 月 9 日, 要項 p. 44

講演

- 1) 「授業研究 (中学校) : 中学 2 年生、生徒の英語力が身につく授業の進め方」財団法人語学教育研究所, 冬期講習会, 語学教育研究所, 1999 年 12 月 25 日
- 2) 「検定教科書—いかに使うか/使わないか」財団法人語学教育研究所, 2002 年度学生研修室講習会, 東京文京区民センター, 2002 年 5 月 18 日
- 3) 「授業の組み立て」財団法人語学教育研究所, 2002 年度基礎研修会, 東京文京区民センター, 2002 年 7 月 13 日
- 4) 「ビデオによる授業研究 (中学校)」財団法人語学教育研究所, 夏期講習会, 東京文京区民センター, 2002 年 8 月 10 日
- 5) 「生徒の可能性を引き出す授業の実際 楽しい授業から表現力を定着させる授業へ」財団法人英語教育協議会, ELEC 春期英語教育研修会, ELEC 英語研修所, 2003 年 3 月 29 日, 研修会資料 pp. 1-3
- 6) 「中学校の授業」財団法人語学教育研究所, オープンセミナー, 東京文京区民センター, 2003 年 5 月 10 日
- 7) 「実践を踏まえた教科書の有効的な扱い方」千葉県君津地区英語研究会 2003 年 8 月 22 日, 講演資料 pp. 1-3
- 8) 「高校リーディングをめざす中学英語のあり方」財団法人英語教育協議会, ELEC 夏期英語教育研修会, ELEC 英語研修所, 2003 年 8 月 4 日, 研修会資料 pp. 1-7
- 9) 「中学校 3 年間を見通した授業計画と英語による授業の具体的方法」財団法人語学教育研究所, 創立 80 周年記念北海道セミナー, 北海道旭川市上川教育研修センター, 2003 年 9 月 6 日, セミナー資料 pp. 1-5
- 10) 「音声中心を徹底させる入門期英語指導の実際」財団法人英語教育協議会, ELEC 春期英語教育研修会, ELEC 英語研修所, 2004 年 3 月 29 日, 研修会資料 pp. 1-6
- 11) 「高校英語を視野に入れた中学英語の指導」財団法人英語教育協議会, ELEC 夏期英語教育研修会, ELEC 英語研修所, 2004 年 8 月 5 日, 研修会資料 pp. 1-10
- 12) 「英語による授業の進め方の具体的方法」財団法人語学教育研究所, 夏期講習会, 語学教育研究所, 2004 年 8 月 10 日 pp. 1-10
- 13) 「音声中心の新教材の導入」財団法人英語教育協議会, ELEC 夏期英語教育研修会, ELEC 英語研修所, 2005 年 7 月 25 日, 研修会資料 pp. 1-4
- 14) 「中学校 3 年間を見通した授業計画と英語による授業の具体的方法 (再演)」財団法人語学教育研究所, 福島セミナー, 桜の聖母短期大学, 2005 年 8 月 2 日, セミナー資料 pp. 1-10
- 15) 「力がつく音読とスピーキング指導の方法」財団法人英語教育協議会, ELEC 夏期英語教育研修会, ELEC 英語研修所, 2007 年 8 月 3 日, 研修会資料 pp. 1-9
- 16) 「リーディング指導の本道 — かくありたい」財団法人語学教育研究所, 夏期講習会, 語学教育研究所, 2007 年 8 月 8 日 pp. 1-6
- 17) 「生徒の英語力をみるみる伸ばす授業の展開 — 教科書を中心として—」財団法人語学教育研究所, 北海道セミナー, 北海道教育大学旭川校, 2007 年 9 月 30 日, セミナー資料 pp. 1-8
- 18) 「ライティング指導の本道 — かくありたい」財団法人語学教育研究所, 冬期講習会, 語学教育研究所, 2007 年 12 月 27 日 pp. 1-4
- 19) 「小学校英語教育—good guessers と good imitators の育成—」石川県教育委員会事務局学校指導課英語教育指導アドバイザー派遣, 石川県津幡町立条南小学校, 2020 年 10 月 16 日
- 20) 「小学校英語教育—good guessers と good imitators の育成—」(再演) 石川県教育委員会事務局学校指導課英語教育指導アドバイザー派遣, 石川県金沢市立大徳小学校, 2020 年 11 月 20 日
- 21) 「中学校英語授業における『やり取り』」石川県教育委員会事務局学校指導課英語教育指導アドバイザー派遣, 石川県白山市立鶴来中学校, 2021 年 6 月 25 日

- 22) 「英語教師の発達段階」一般大段法人語学教育研究所主催オンライン講習会、ア・ラ・カルト講座、Zoom による配信講座、2021年7月30日
- 23) 「話すこと[やり取り]再検討ー実践に向けてー」令和3年度英語教育充実事業「話すこと[やり取りに係る指導力向上セミナー、石川県教育委員会学校指導課主催、石川県庁行政庁舎1105会議室、2021年8月5日
- 24) 「中学校英語授業における『やり取り』」(再演)石川県教育委員会事務局学校指導課英語教育指導アドバイザー派遣、石川県能登町立松波中学校、2021年9月24日
- 25) 「これからの英語教育ー小中高をつなぐー」北陸学院大学主催2021年度REDeCセミナー〜つなげる・つながる〜、北陸学院大学第3視聴覚室、2021年11月28日、コーディネーター、他5名
- 26) 「小中連携セミナー(英語教育)」一般大段法人語学教育研究所主催オンライン講習会、Zoomによる配信講座、2022年2月19日、他13名との共同講習会

特殊な専門技能による業績

- 1) 「パーマー賞」受賞(財団法人語学教育研究所、研究大会、拓殖大学、2000年10月21日)

研究助成・科研費等

- 1) 2016.4 東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校に在任時、スーパー・グローバル・ハイスクール委員長として「グローバル・リーダーとしての音楽家を育成するため、東京藝術大学との高大連携プログラムを構築し、文部科学省よりスーパー・グローバル・ハイスクールの指定を受け約1000万円の研究助成費を獲得。